

2022年3月下旬 3刷出来!
川内倫子写真集『as it is』

定価:3000+税/144頁+テキスト差込18P/
カラー/B5サイズ/並製(フランス装)
デザイン:若林亜希子
ISBN978-4-907562-24-3 C0072



表紙イメージ



『as it is』は、川内倫子が自身の出産から約3年間、子育ての中で出会った子どもの姿や身近な風景を撮りためて構成した新作写真集となります。初写真集『うたたね』(2001年)から20年という歳月の中で、日常の出来事から外の世界へとまなざしを向けながら、近作『Halo』(2017年)では、遠い宇宙を感じさせるイメージを切り開いてきました。そこからもう一度、自身の子どもや家族とともに、目の前の日常風景を見つめ直し、原点に立ち返っています。

3歳になるまでの子どもは、自我が芽生え始めながらも社会とは無縁に生きる、生の塊のような眩しさを持ち合わせています。本作では、川内が一人の母親として感じてきた想いが短いテキストで挟み込まれ、現在進行形で綴る家族の物語でありながら、子どもという生命力溢れる存在の普遍性にも迫っています。ささやかな物事に宿る生命の美しさと、その気づきから積み重なっていく日々。現在、私たちの生活は新型コロナウイルスによって一変しました。何気ない日々の切実さを改めて大切に思う現在だからこそ、これまでの風景が違う層を見せながら、新しい時代を生きる私たちに寄り添う一冊となるでしょう。



まっ白な可能性のかたまりだということにはとつする
これからいろんな色があることを知っていくのだろう

いつか飛び立つ日が来ることをいまから恐れるのは早すぎるのだろうか
でもその日はすぐに来るんだろう

真夏のある昼下がり
家の裏庭で玉虫を見つけた

テキストより抜粋

川内倫子 (Rinko Kawauchi) / 1972年、滋賀県生まれ。写真家。2002年、『うたたね』『花火』で第27回木村伊兵衛写真賞受賞。国際的にも高い評価を受け、国内外で数多くの展覧会を行う。主な個展に、2005年「AILA + Cui Cui + the eyes, the ears,」カルティエ現代美術財団(パリ)、2012年「照度 あめつち 影を見る」東京都写真美術館、2016年「川が私を受け入れてくれた」熊本市現代美術館などがある。著作は写真絵本『はじまりのひ』(2018年)、作品集『Halo』(2017年)など多数。

*川内倫子個展 2022年10月8日~12月18日 東京オペラシティ アートギャラリーにて開催!(滋賀県立美術館に巡回します)

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com
TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印) ご担当: 様	注文 torch press	www.torchpress.net 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
	注文数	『as it is』川内倫子 ISBN978-4-907562-24-3 C0072 定価3,000円+税